

提出日：平成29年7月3日

担当部・課：産業部産業推進課〔内線3543〕

<b>① 件名</b>	Reborn-Art Festival2017 の開催に係る市職員の従事について
<b>② 施策等を必要とする背景及び目的（理由）</b>	<p><b>【背景】</b> 東日本大震災により甚大な被害を受けた半島部の豊かな自然やロケーションを活かした総合芸術祭「Reborn-Art Festival2017」の開催に向け、平成27年7月に Reborn-Art Festival 実行委員会」が設立され、平成29年7月22日（土）～9月10日（日）の51日間開催される。</p> <p><b>【目的】</b> 牡鹿半島を主会場とし、地域資源の魅力を広くPRし、交流人口の増加による地域の活性化の一助とする。</p>
<b>③ 根拠法令及び総合計画又は個別計画との整合性</b>	<p><b>【根拠法令】</b></p> <p><b>【〔総合計画との整合性 総合計画・震災復興基本計画の位置付け：<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">有</span>・無〕又は〔個別計画との整合性〕】</b> 石巻市震災復興基本計画 第3章 施策の展開 施策大綱3 自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる 第1節 海とともに生きる (4) 商業の再建復興</p>
<b>④ 提案に至るまでの経過（市民参加の有無とその内容を含む。）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年7月7日 Reborn-Art Festival 実行委員会設立</li> <li>・平成28年4月 ボランティアスタッフ「こじか隊」の募集開始</li> <li>・平成28年7月29日～7月31日 Reborn-Art Festival×ap bank fes2016 の開催</li> </ul>
<b>⑤ 主な内容</b>	<p>1 事業概要</p> <p>(1) アート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地エリア、桃浦・荻浜エリア、鮎川エリアに計44作品を設置（6月1日現在）。</li> <li>・数点の追加について、随時、調整が整い次第、制作を開始。</li> </ul> <p>(2) 音楽</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中瀬公園、荻浜小学校を主要会場とし、街中のライブハウス、御番所公園等においてステージトラックや持ち運び可能な音響設備を使用し、51日間毎日、様々な場所で中小規模の音楽イベントを開催。</li> </ul> <p>(3) 食</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荻浜公民館跡地に整備中の「牡鹿ビレッジ」内に整備される「はまさいさい」において、地域の食材を生かした地元の料理を提供。</li> <li>・荻浜漁港付近に整備される「Reborn-Art DINING」では、有名なシェフ達により、地域の食材（魚介や鹿肉など）を生かした料理を提供。</li> </ul> <p>2 主催等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主催：Reborn-Art Festival 実行委員会事務局、一般社団法人APバンク</li> <li>・共催：宮城県、石巻市、塩竈市、東松島市、松島町、女川町、株式会社河北新報社、東日本旅客鉄道株式会社 仙台支社、ヤフー株式会社</li> <li>・特別協力：日本製紙株式会社</li> <li>・協力：株式会社日本政策投資銀行</li> <li>・協賛：キリン株式会社、住友林業株式会社、トヨタ自動車株式会社、タニコー株式会社、環境ス</li> </ul>

テーション株式会社、三井不動産株式会社、院庄林業株式会社、株式会社エヌ・シー・エヌ、東北電力株式会社

- ・後援：ブリティッシュ・カウンシル、ドイツ連邦共和国大使館、在日フランス大使館、アンステイチュ・フランセ日本、TBC東北放送、OX仙台放送、ミヤギテレビ、KHB東日本放送

### 3 市職員の従事

- ・本イベントの実施に当たり、Reborn-Art Festival 実行委員会事務局において、ボランティアスタッフ「こじか隊」の募集を行っており、平成29年6月22日現在で850人を超える登録がなされている。
- ・しかしながら、平日で70人、土日祝日で120人の配置（最低限40人がいなければ業務実施に支障が生じる）が必要だが、不足している状況にある。
- ・主会場の地元自治体として積極的に運営に携わっていく必要があり、不足人員をカバーすべく市職員が会期中従事するもの。

### 4 必要人員

- ・平日20人、土日祝日30人（うち平日、土日祝日とも Reborn-Art Festival 実行委員会事務局を支援する職員を除き各5名は産業部から従事させる）。

### 5 勤務形態等

- ・原則として午前8時に市役所本庁舎北口玄関前に集合し、点呼、当日の業務内容を説明する。  
※市街地の配置職員は徒歩、半島部の配置職員は公用車の乗合で移動する。
- ・活動中は、エリアの責任者の指示に従い、適宜休憩を取りながら従事する。  
※業務内容は、来場者の誘導、アート作品前での受付・監視、駐車場の整理 など。
- ・活動が終わり次第、徒歩又は公用車の乗合で帰庁し、産業推進課前で業務報告を行う。

## ⑥ 実施した場合の影響・効果（財源措置及び複数年のコスト計算を含む。）

### 【影響・効果】

- ・交流人口の拡大  
平成29年度は来場者数20万人を目指す。
- ・経済効果  
平成29年度は経済効果として39億円／年、雇用については386人の雇用効果が見込まれる。  
※宮城県産業連関表を用いた株式会社日本経済研究所による調査

### 【財源措置】

- ・Reborn-Art Festival2017 については、75, 200千円の補助金を当初及び6月補正予算で措置済。

## ⑦ 他の自治体の政策との比較検討

なし

## ⑧ 今後の予定及び施行予定年月日

- ・平成29年度第7回庁議終了後、グループウェアにより職員の協力要請
  - ・平成29年7月14日（金）午後2時～ 事前説明会の開催
  - ・平成29年7月22日（土）～9月10日（日） Reborn-Art Festival2017 の開催
  - ・平成29年7月28日（金）～7月30日（日） Reborn-Art Festival2017×ap bank fes の開催
- ※Reborn-Art Festival の本祭は隔年又は2年おきに本祭が行われ、今後10年間継続開催される予定。

## ⑨ その他